

II 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

令和3年の島根県の観光入込客延べ数は20,842千人であり、前年と比べると、476千人（-2.2%）減少した。

〈観光入込客延べ数〉

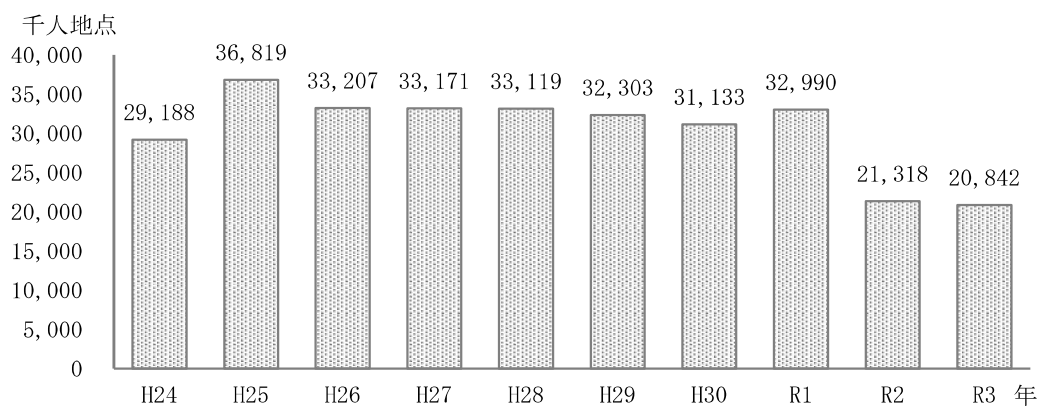
区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	20,842	7,539	13,303
構成比	100.0%	36.17%	63.83%
対前年増減	-2.2%	+9.1%	-7.7%

注）県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

【主な変動要因】

- ①新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による観光需要の減少
- ②新型コロナウイルス感染拡大に伴う、入国制限によるインバウンド需要の蒸発
- ③「しまねプレミアム観光券」による県内観光客の集客（令和2年11月上旬～令和3年6月下旬）
- ④「再発見！あなたのしまねキャンペーン（#WeLove山陰キャンペーン）」による山陰観光客の集客（令和3年3月上旬～8月下旬、令和3年10月上旬～令和4年1月下旬）

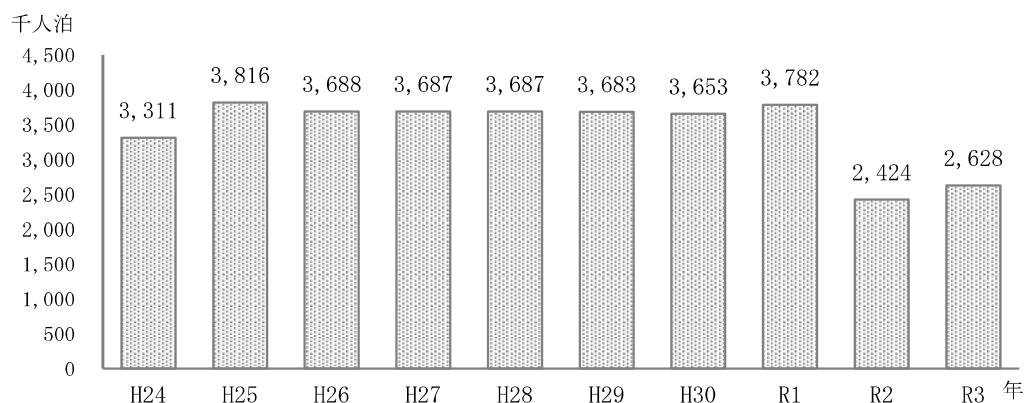
〈観光入込客延べ数の推移〉



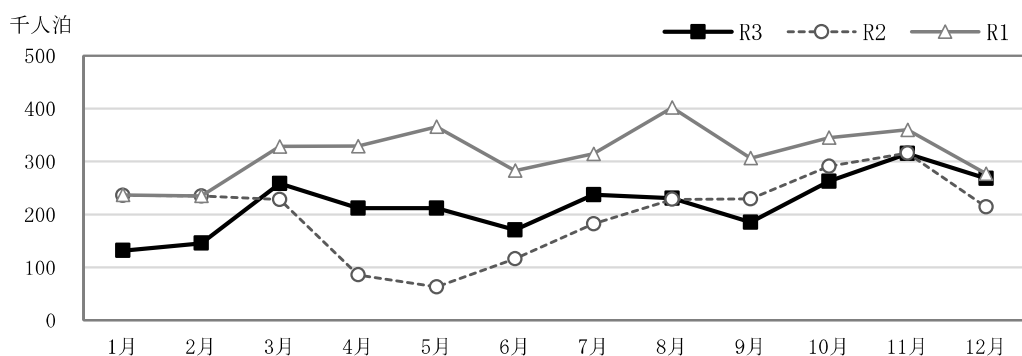
2. 宿泊客延べ数

令和3年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、2,628千人泊であり、前年と比べると、204千人泊（+8.4%）増加した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



〈施設分類別宿泊客延べ数〉

区 分	ホテル 旅 館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	249	107	4	33	34	427
宿泊客延べ数 (人泊)	2,317,011	85,942	15,547	107,059	102,133	2,627,692
構 成 比	88.2%	3.3%	0.6%	4.1%	3.9%	100.0%
対 前 年 増 減	+7.0%	+30.7%	+0.2%	+20.0%	+16.8%	+8.4%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに、観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、9,125千人であり、前年と比べると、5千人（-0.1%）減少した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	9,125	143	1,597	3,328	4,057
構 成 比	100.0%	1.6%	17.5%	36.5%	44.5%
対 前 年 増 減	-0.1%	+44.5%	+5.7%	+9.4%	-9.4%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に、観光入込客実人数を乗じて推計した令和3年の全県の観光消費額は、約698億円であり、前年と比べると、約54億円（-7.2%）減少した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.25倍の約870億円と推計され、前年と比べると、約67億円（-7.2%）減少した。

注）経済波及効果は、平成27年島根県産業連関表を用いて推計した。

〈1人当たり消費額〉

区 分	観光消費額単価 (円)	観光消費額	
		対前年増減	(百万円)
県内客・宿泊	17,945	-30.4%	2,566
県外客・宿泊	24,454	-14.3%	39,054
県内客・日帰り	2,341	-8.1%	7,791
県外客・日帰り	5,020	+3.2%	20,366
計	-	-	69,778

5. 外国人宿泊客延べ数

令和3年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、9,217人泊であり、前年と比べると、5.4千人泊（-36.8%）減少した。

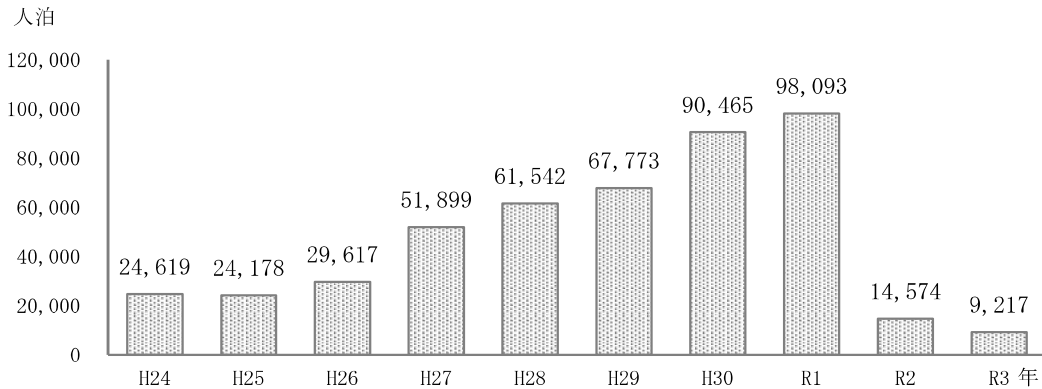
国・地域別では、ベトナムからが最も多く4,283人泊（構成比46.5%）、次いでアメリカ1,210人泊（同13.1%）、中国856人泊（同9.3%）であった。

〈外国人宿泊客延べ数〉

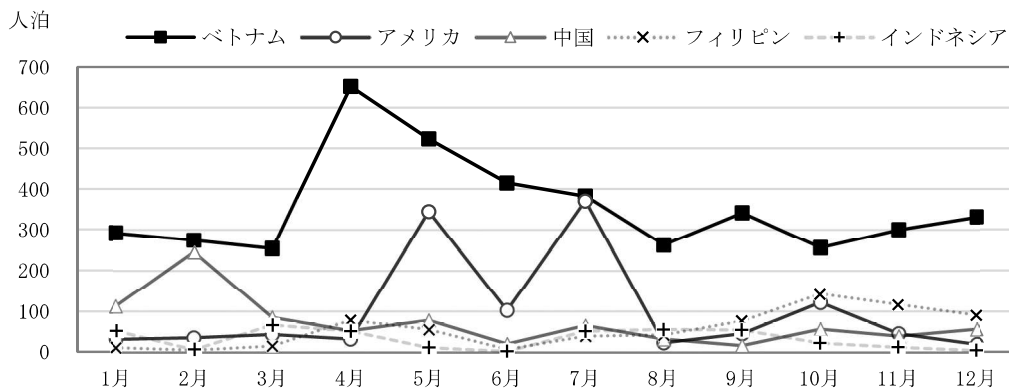
国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
ベトナム	4,283	46.5%	+97.6%
アメリカ	1,210	13.1%	-28.4%
中国	856	9.3%	-51.8%
フィリピン	676	7.3%	+458.7%
インドネシア	386	4.2%	+22.5%
タイ	115	1.2%	-28.1%
韓国	113	1.2%	-79.3%
インド	76	0.8%	-28.3%
台湾	75	0.8%	-97.4%
マレーシア	72	0.8%	-40.5%
シンガポール	71	0.8%	-68.2%
ドイツ	71	0.8%	-49.3%

国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人泊	構成比	
イギリス	50	0.5%	-75.1%
フランス	47	0.5%	-89.5%
オーストラリア	30	0.3%	-84.9%
香港	25	0.3%	-98.4%
カナダ	12	0.1%	-78.2%
ロシア	7	0.1%	-82.1%
その他アジア	257	2.8%	-34.3%
中南米	135	1.5%	+0.7%
その他ヨーロッパ	124	1.3%	-60.8%
その他オセアニア	4	0.0%	-92.0%
アフリカ	4	0.0%	-88.6%
その他	518	5.6%	-40.9%
合計	9,217	100.0%	-36.8%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数（上位5カ国）の推移〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりであった。

<市町村>

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	8,531,238	-2.9%
松江市	5,022,796	-6.6%
浜田市	1,144,658	+21.9%
雲南市	933,164	-5.3%
大田市	879,044	+8.2%
津和野町	878,096	-7.1%
安来市	744,342	-21.2%
奥出雲町	740,573	+5.5%
益田市	665,429	+11.5%
飯南町	355,249	+5.5%

<観光地・観光施設>

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社(出雲市)	4,741,000	-4.3%
美保関(松江市)	875,070	+10.9%
日御碕(出雲市)	714,320	-6.9%
三瓶山(大田市)	594,000	+15.0%
石見海浜公園(浜田市)	447,100	+19.6%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	402,166	-19.6%
道の駅湯の川(出雲市)	400,013	+2.7%
道の駅キララ多伎(出雲市)	354,548	+5.6%
玉造温泉(松江市)	337,747	-9.8%
万葉公園(益田市)	243,348	+10.9%

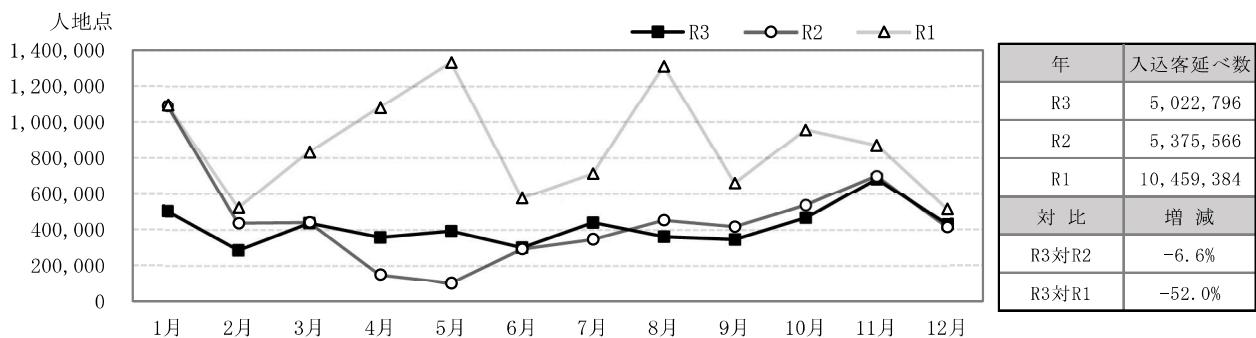
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、8,531 千人(-2.9%)、次いで松江地域 5,023 千人(-6.6%)、雲南地域 2,029 千人(+0.2%)、益田地域 1,718 千人(-0.3%)、浜田地域 1,427 千人(+17.8%)、大田地域 1,246 千人(+7.6%)、安来地域 744 千人(-21.2%)、隠岐地域 123 千人(+34.6%) の順となった。

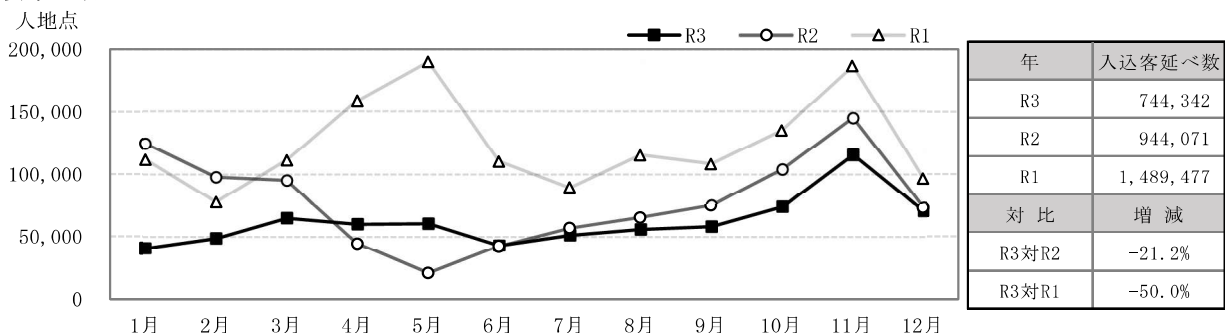
前年と比較して、隠岐地域、浜田地域、大田地域及び雲南地域において観光入込客延べ数は増加した。

<地域別月別観光入込客延べ数の推移>

松江地域

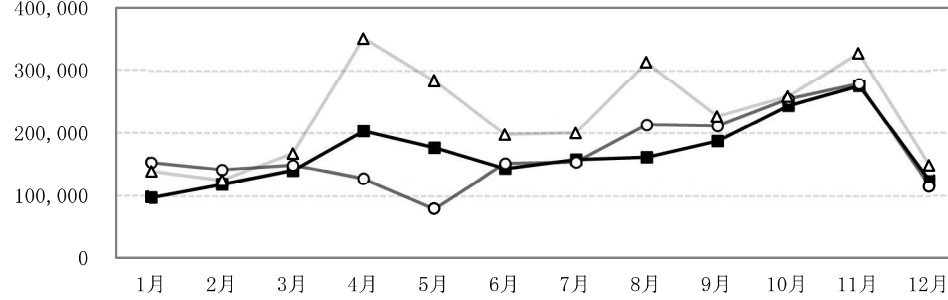


安来地域



雲南地域

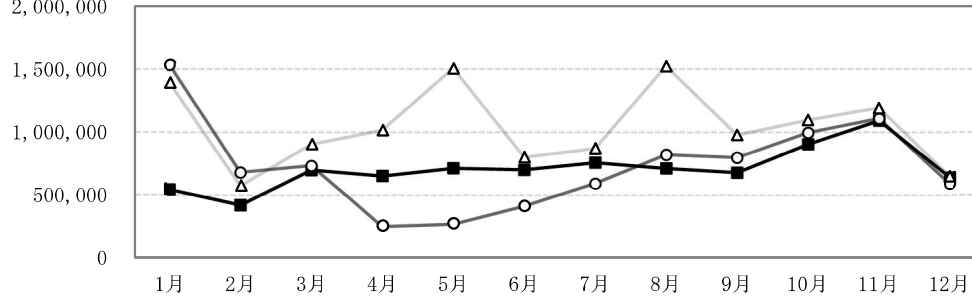
人地点



年	入込客延べ数
R3	2,028,986
R2	2,024,673
R1	2,733,618
対比	増減
R3対R2	+0.2%
R3対R1	-25.8%

出雲地域

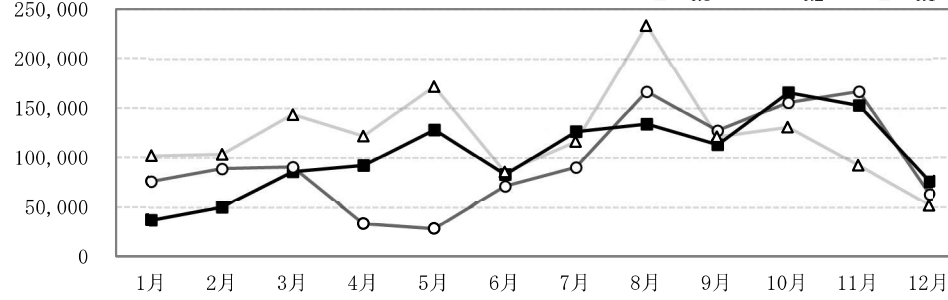
人地点



年	入込客延べ数
R3	8,531,238
R2	8,788,358
R1	12,488,935
対比	増減
R3対R2	-2.9%
R3対R1	-31.7%

大田地域

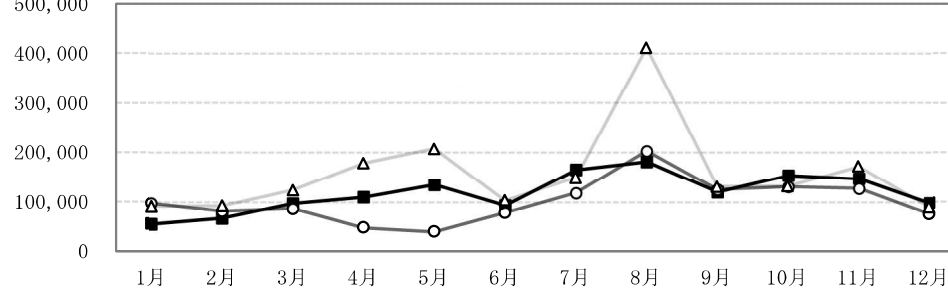
人地点



年	入込客延べ数
R3	1,246,172
R2	1,158,094
R1	1,471,948
対比	増減
R3対R2	+7.6%
R3対R1	-15.3%

浜田地域

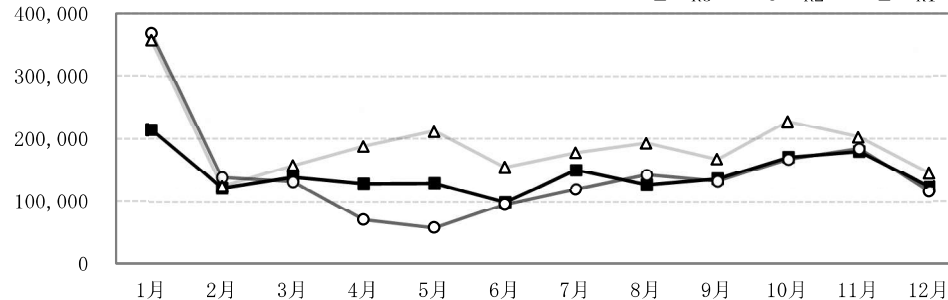
人地点



年	入込客延べ数
R3	1,426,743
R2	1,211,560
R1	1,877,526
対比	増減
R3対R2	+17.8%
R3対R1	-24.0%

益田地域

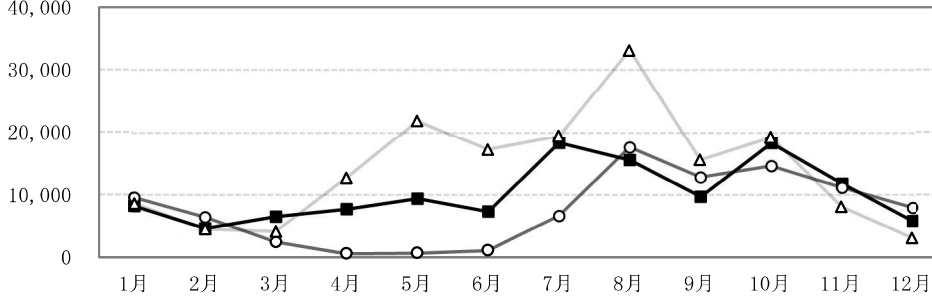
人地点



年	入込客延べ数
R3	1,718,250
R2	1,723,609
R1	2,301,987
対比	増減
R3対R2	-0.3%
R3対R1	-25.4%

隠岐地域

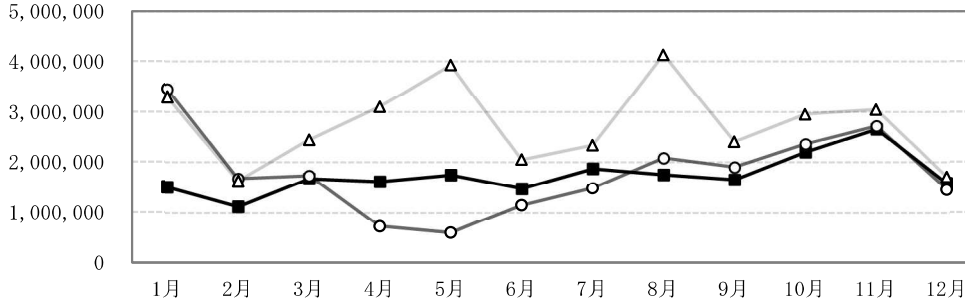
人地点



年	入込客延べ数
R3	123,491
R2	91,719
R1	167,305
対比	増減
R3対R2	+34.6%
R3対R1	-26.2%

全県

人地点

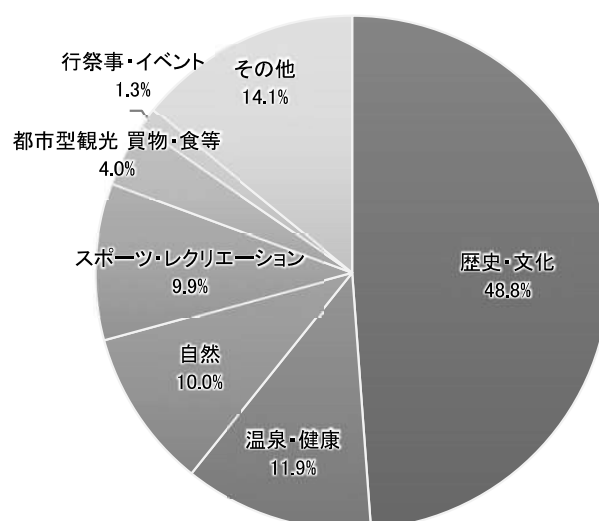


年	入込客延べ数
R3	20,842,018
R2	21,317,650
R1	32,990,180
対比	増減
R3対R2	-2.2%
R3対R1	-36.8%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く48.8%、次いで「温泉・健康」11.9%、「自然」10.0%、「スポーツ・レクリエーション」9.9%であった。

〈行動目的別割合〉



〈行動目的別入込客延べ数、対前年増減〉

行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	10,178,192	-5.5%
温泉・健康	2,483,415	-1.8%
自然	2,088,348	-1.0%
スポーツ・レクリエーション	2,058,548	+3.4%
都市型観光 買物・食等	823,969	-4.0%
行祭事・イベント	270,782	+39.7%
その他	2,938,764	+2.5%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	7,328,175	-7.0%
温泉・健康	温泉	2,483,415	-1.8%
自然	海岸	1,236,640	-0.3%
歴史・文化	博物館	1,041,538	+10.8%
スポーツ・レクリエーション	公園	450,104	+6.5%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

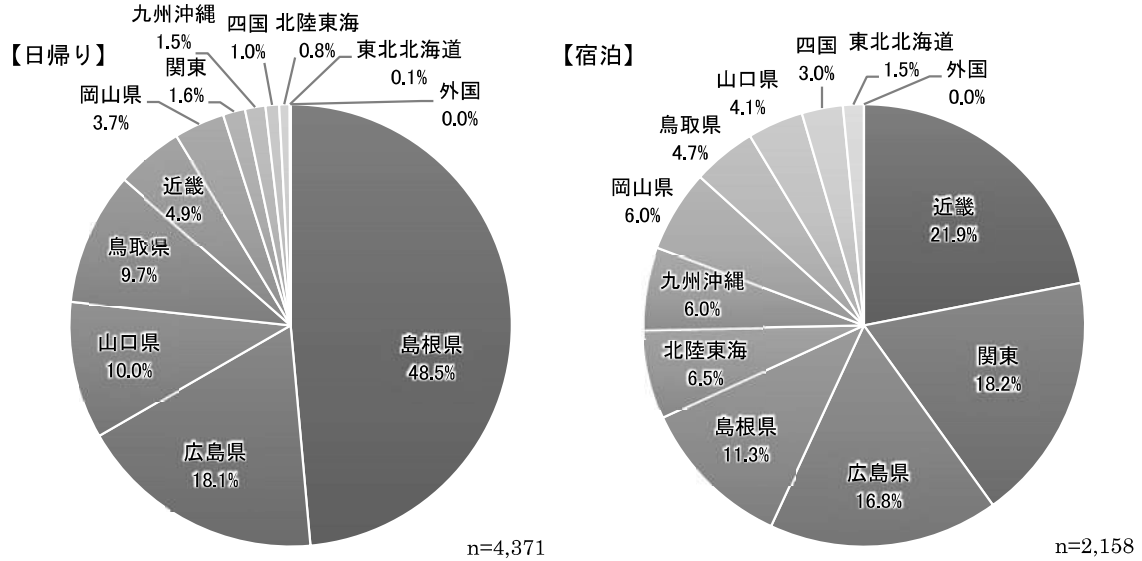
令和3年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析した。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

日帰りでは、島根県が最も多く48.5%、次いで広島県18.1%であった。構成比は、島根県が前年から3.0ポイント増加した。

宿泊では、近畿が最も多く21.9%、次いで関東18.2%であった。構成比は、前年から関東が1.5ポイント増加し、北陸東海が2.0ポイント減少した。



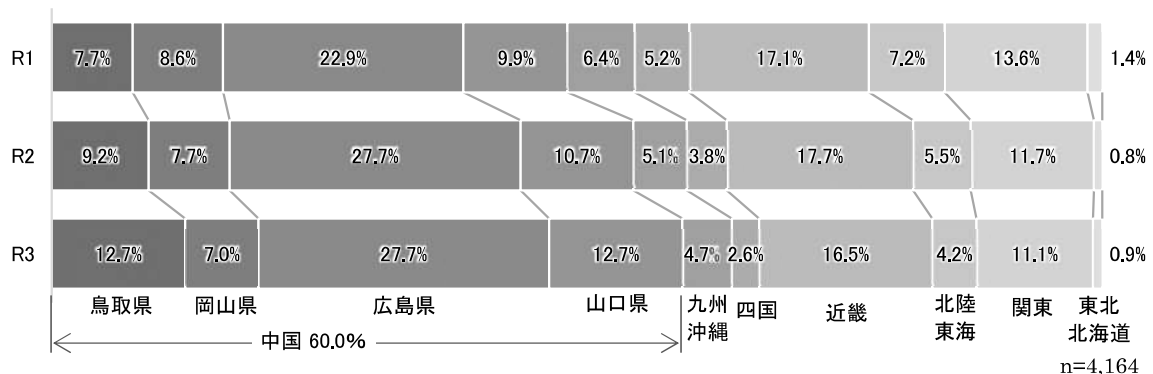
<日帰り・宿泊別入込客割合構成比、対前年増減>

		東北	関東	北陸	近畿	中国						四国	九州	外国
		北海道		東海			鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		沖縄	
日 帰 り	R2	0.1%	2.4%	0.7%	5.4%	87.5%	7.6%	45.6%	4.2%	20.6%	9.6%	1.7%	2.1%	0.0%
	R3	0.1%	1.6%	0.8%	4.9%	90.2%	9.7%	48.5%	3.7%	18.1%	10.0%	1.0%	1.5%	0.0%
	対前年増減	-0.0%	-0.8%	+0.0%	-0.5%	+2.6%	+2.1%	+3.0%	-0.4%	-2.5%	+0.5%	-0.7%	-0.6%	-0.0%
宿 泊	R2	1.2%	16.7%	8.5%	22.5%	41.4%	4.2%	10.5%	7.0%	16.0%	3.7%	4.0%	5.6%	0.1%
	R3	1.5%	18.2%	6.5%	21.9%	42.8%	4.7%	11.3%	6.0%	16.8%	4.1%	3.0%	6.0%	0.0%
	対前年増減	+0.3%	+1.5%	-2.0%	-0.6%	+1.4%	+0.5%	+0.8%	-1.0%	+0.8%	+0.4%	-1.0%	+0.4%	-0.1%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く27.7%、次いで近畿16.5%、鳥取県及び山口県12.7%であった。前年から広島県は変動せず、近畿は1.2ポイント減少し、鳥取県は3.5ポイント、山口県は2.0ポイント増加した。

<発地別県外入込客割合の推移>

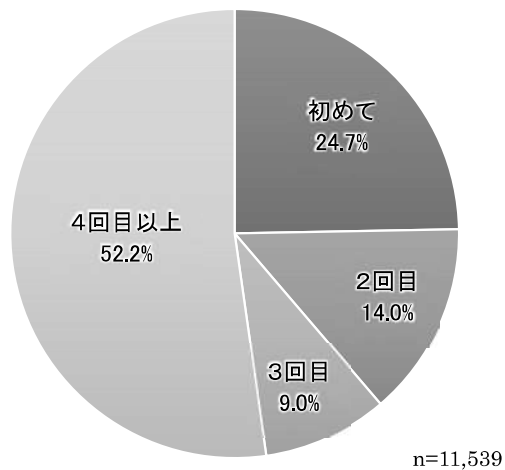


(2) 旅行回数

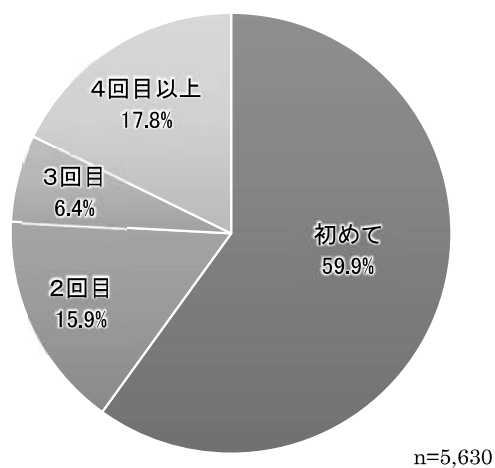
観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回目以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多かった。島根県への訪問回数は、日帰り宿泊ともに「4回目以上」が最も多かった。

ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



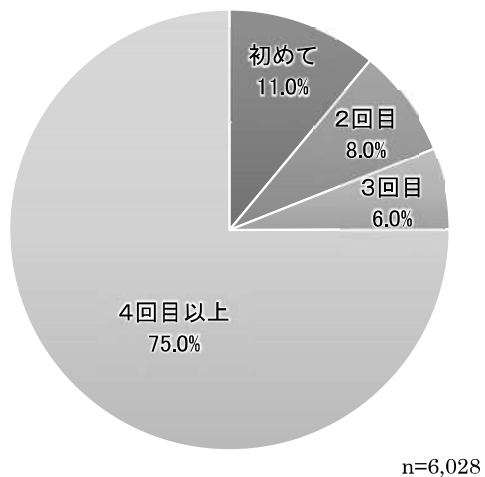
【宿泊】



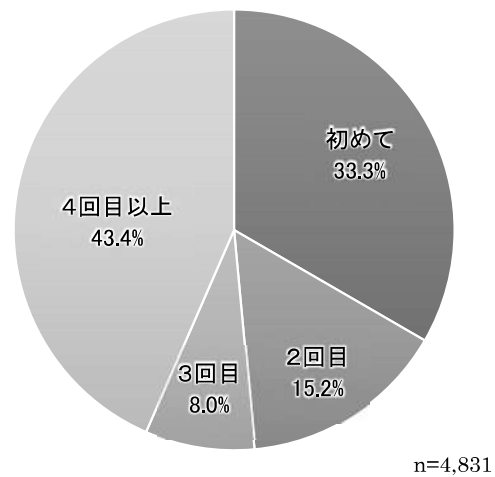
イ. 島根県の訪問回数

※この項目は県外客を対象に「島根県への訪問回数」を質問した。

【日帰り】

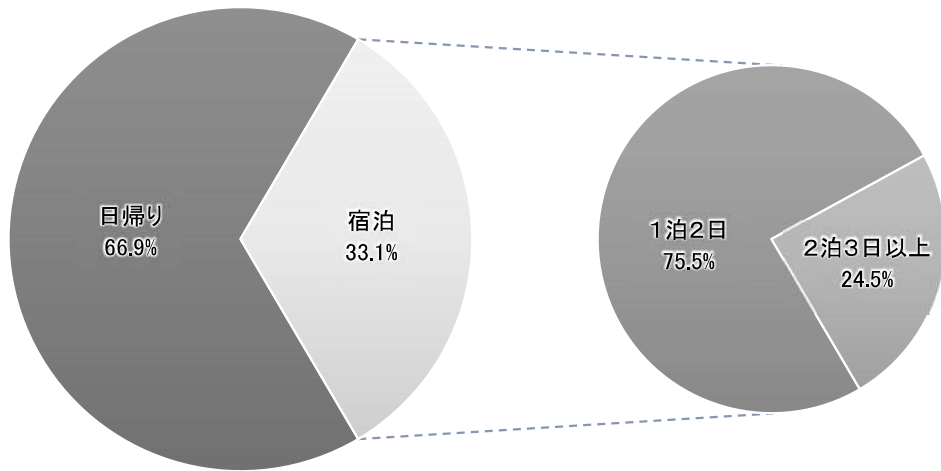


【宿泊】



(3) 旅行日程

「日帰り」が66.9%、「宿泊」が33.1%であり、「宿泊」のうち、75.5%が「1泊2日」であった。



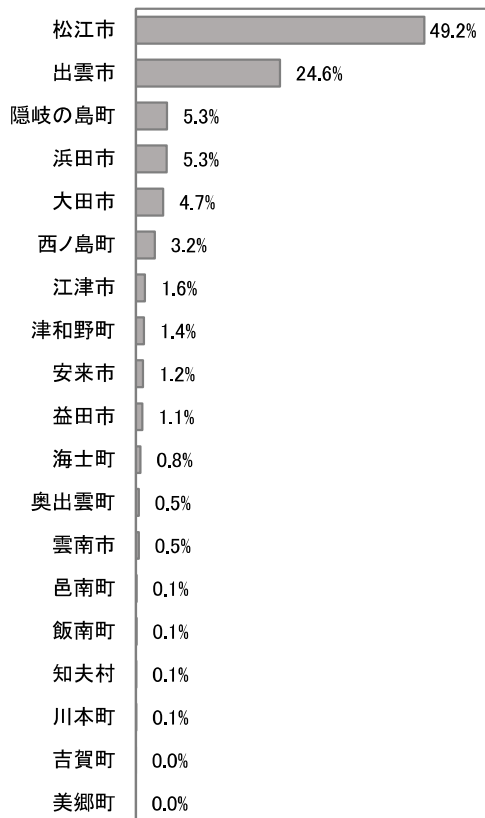
n=6,529

(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が49.2%、次いで「出雲市」が24.6%であり、全体の約7割(73.8%)を占めていた。

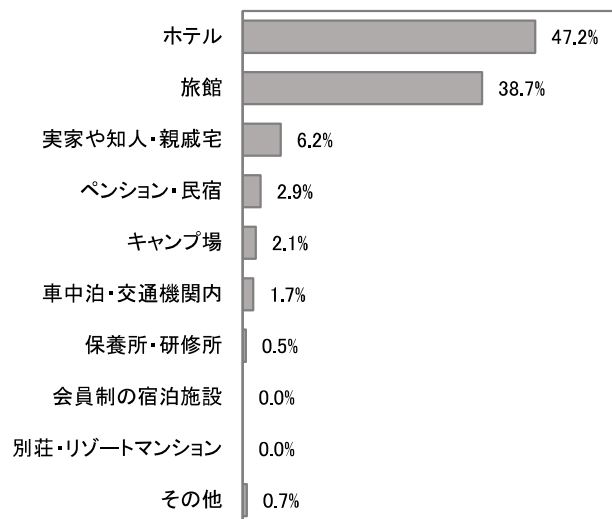
宿泊施設では「ホテル」が47.2%、次いで「旅館」が38.7%であり、全体の約9割(85.9%)を占めていた。

【市町村】



n=2,908

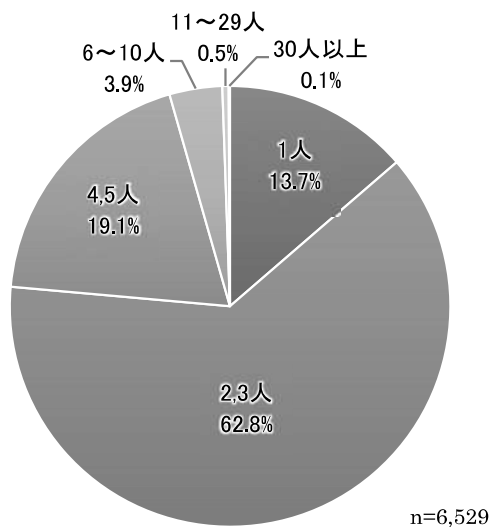
【宿泊施設】



n=2,908

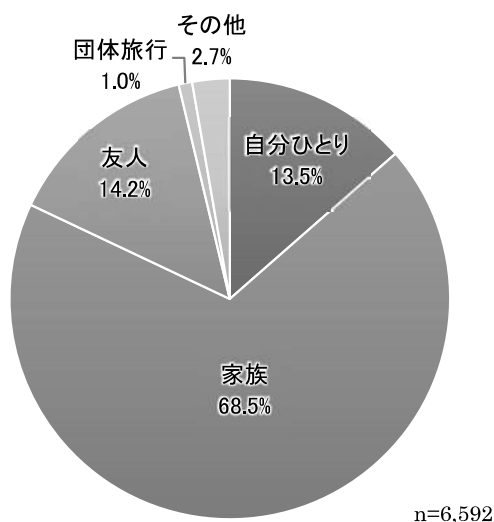
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く 62.8%、次いで「4、5人」が 19.1%であった。



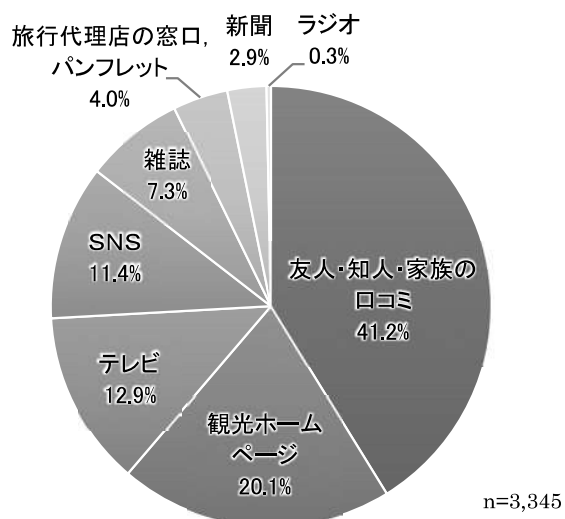
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く 68.5%、次いで「友人」が 14.2%であった。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

その他の回答を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く 41.2%、次いで「観光ホームページ」が 20.1%であった。



(8) 利用交通機関

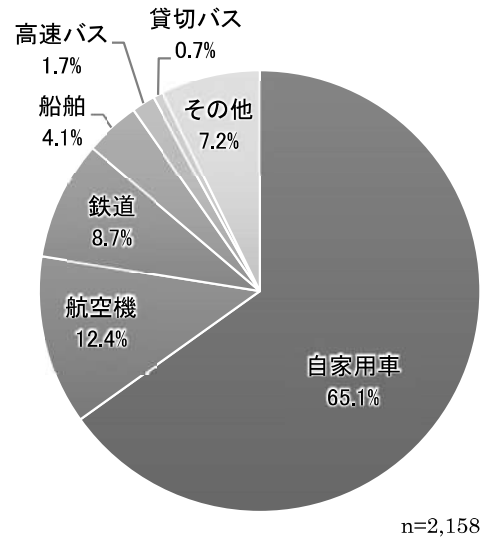
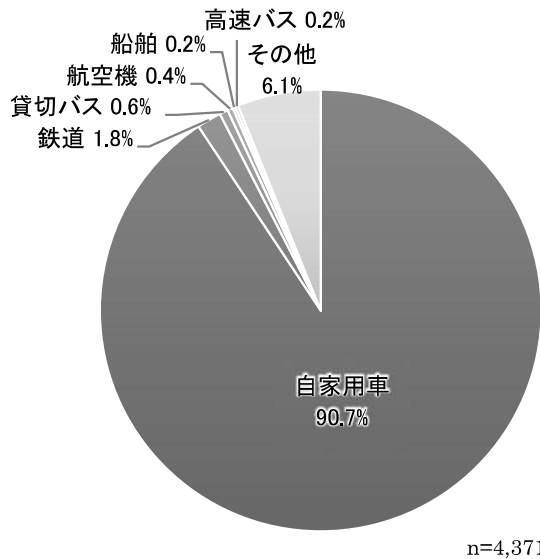
ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 90.7%、次いで「その他」が 6.1%、「鉄道」が 1.8%であった。

宿泊では、「自家用車」が最も多く 65.1%、次いで「航空機」12.4%、「鉄道」8.7%であった。

【日帰り】

【宿泊】

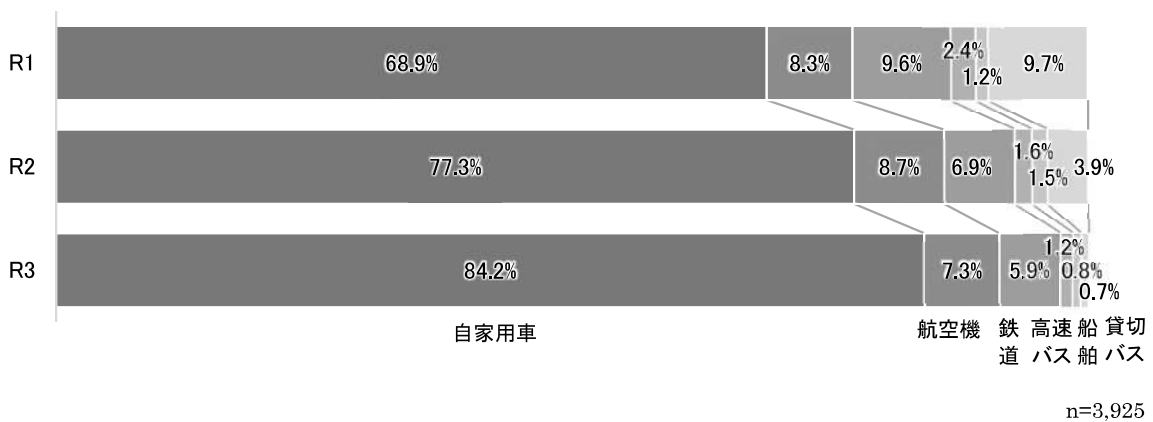


イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く 84.2%、次いで「航空機」7.3%、「鉄道」5.9%であった。

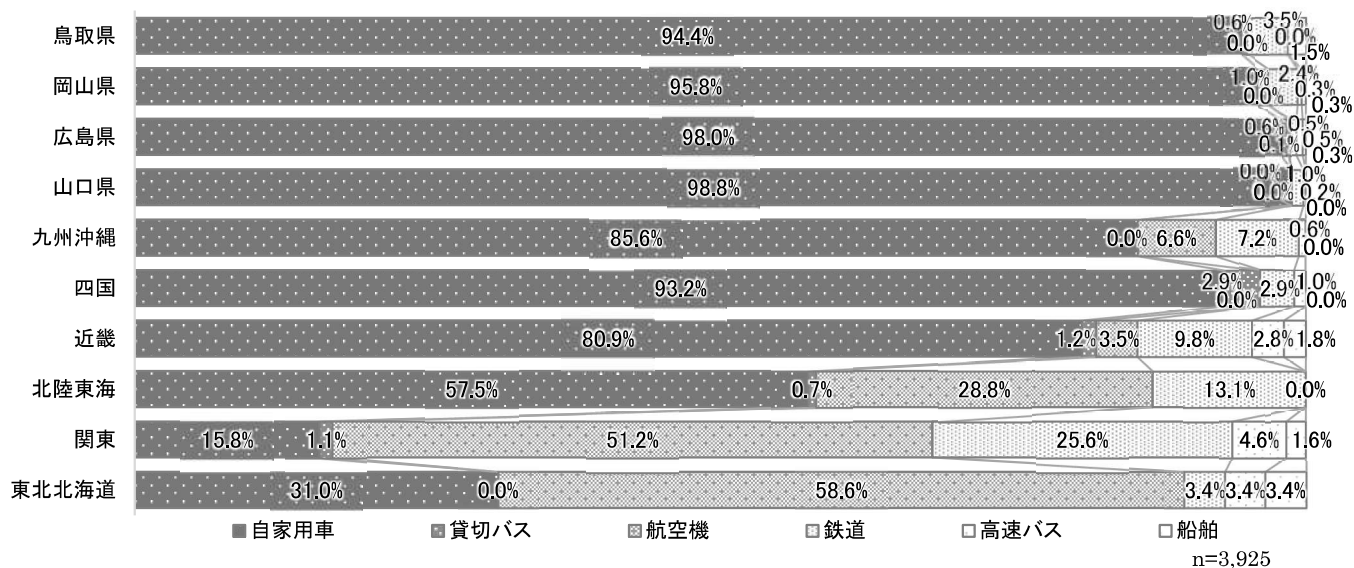
「自家用車」の割合は、前年から 6.8 ポイント増加した。

〈県外利用交通機関割合の推移〉



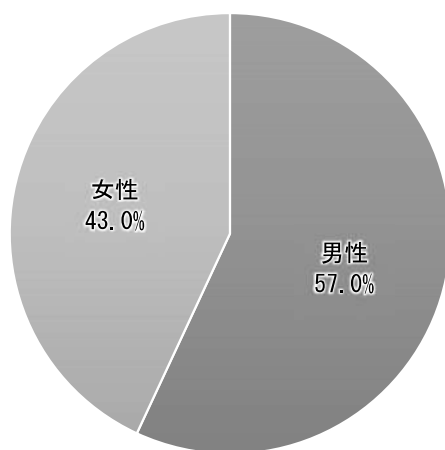
ウ. 県外地域別利用交通機関割合

県外客について地域別に利用交通機関をみると、「自家用車」が中国、四国では9割以上、九州沖縄、近畿では8割以上を占めていた。「航空機」が最も高いのは東北北海道、「鉄道」が最も高いのは関東であった。



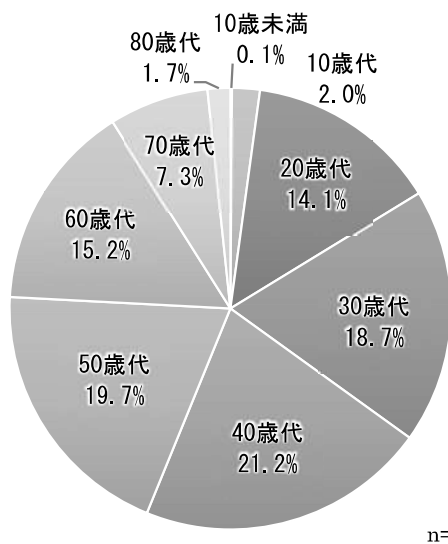
(9) 性別

「男性」が57.0%、「女性」が43.0%であった。



(10) 年齢

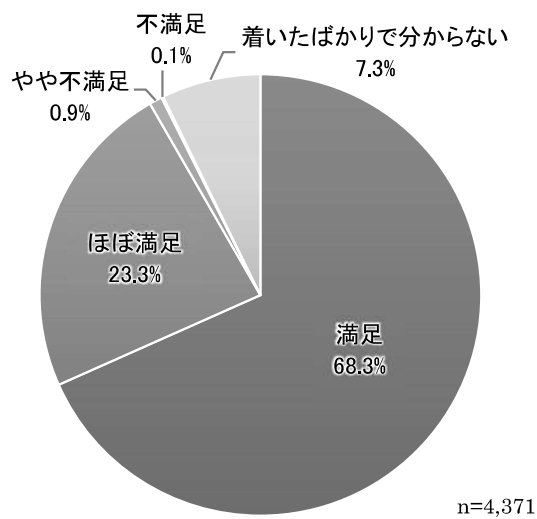
「30歳代」から「60歳代」がそれぞれ約2割を占めていた。



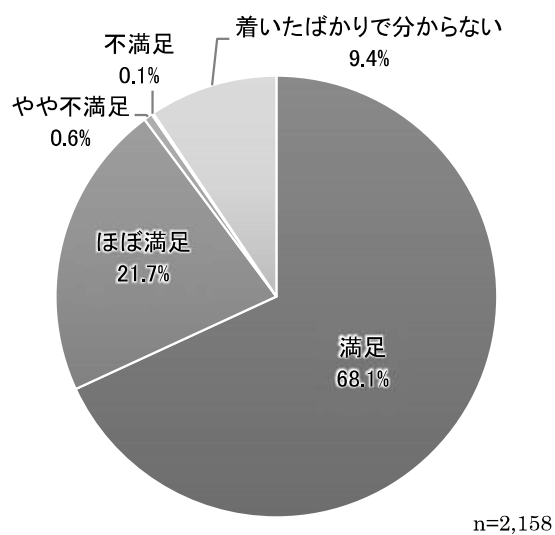
(11) 満足度

日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合せると約9割を占めていた。

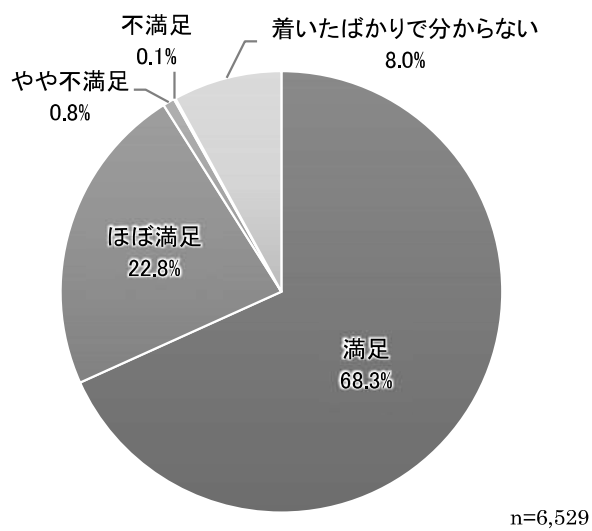
【日帰り】



【宿泊】



【全体】



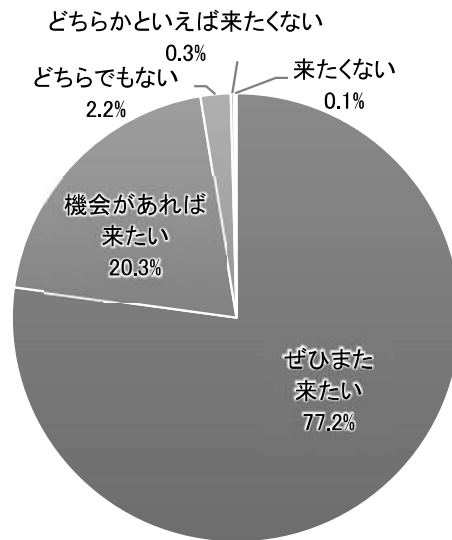
(12) 再訪意向

ア. 島根県及び観光施設への再訪意向

県外客の島根県への再訪意向は、「ぜひまた来たい」と「機会があれば来たい」を合すると 9 割以上であった。県内客の観光施設への再訪意向についても同様の割合であった。

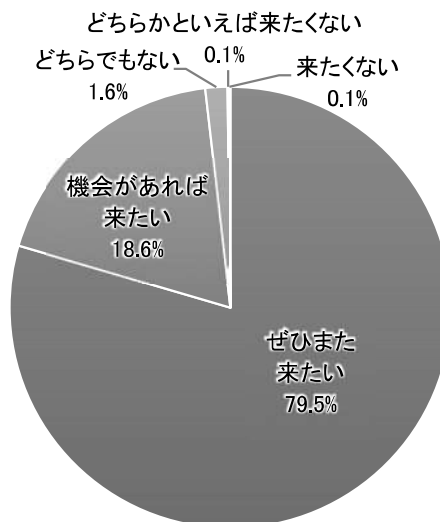
※この項目は、県外客には「島根県への再訪意向」、県内客には「観光施設への再訪意向」を質問した。

【島根県への再訪意向（県外客）】



n=4,164

【観光施設への再訪意向（県内客）】

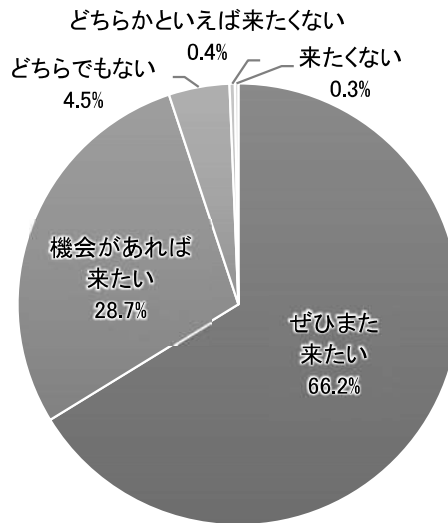


n=2,365

イ. 島根県への訪問回数別再訪意向

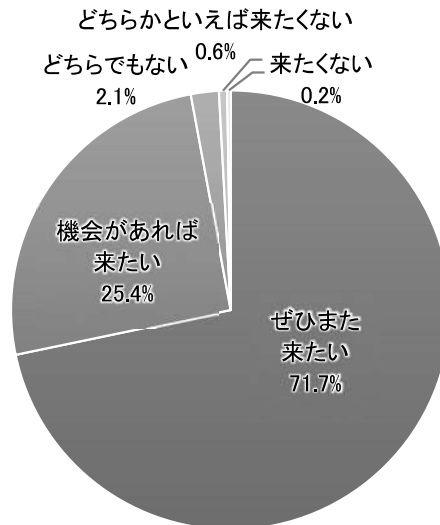
県外客の「島根県への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなる傾向が見られた。

【訪問1回目】



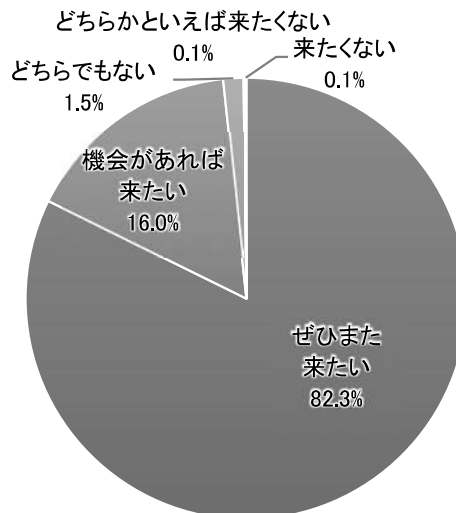
n=785

【訪問2~3回目】



n=828

【訪問4回目以上】

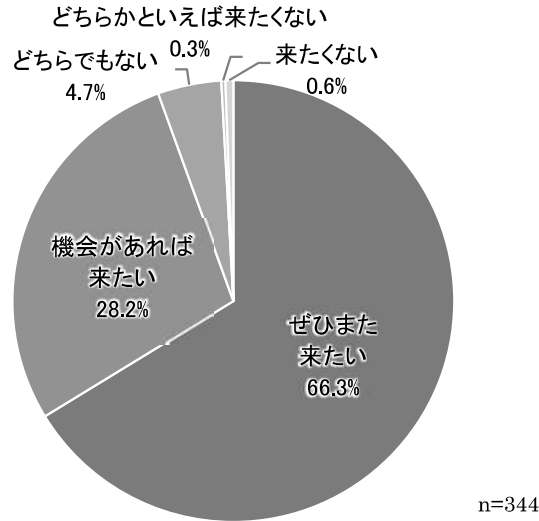


n=2,551

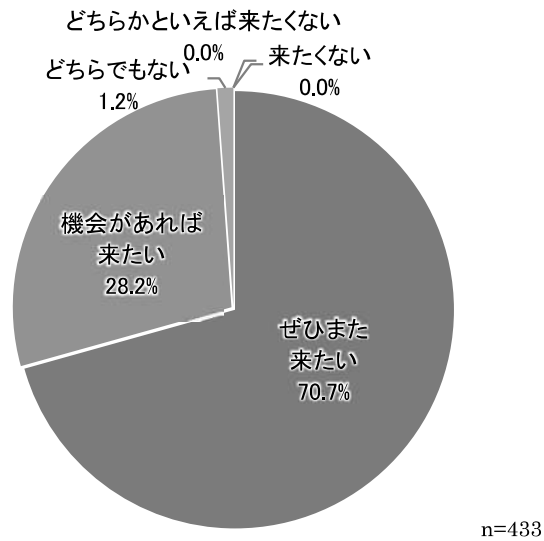
ウ. 観光施設への訪問回数別再訪意向

県内客の「観光施設への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなる傾向が見られた。

【訪問1回目】



【訪問2~3回目】



【訪問4回目以上】

